

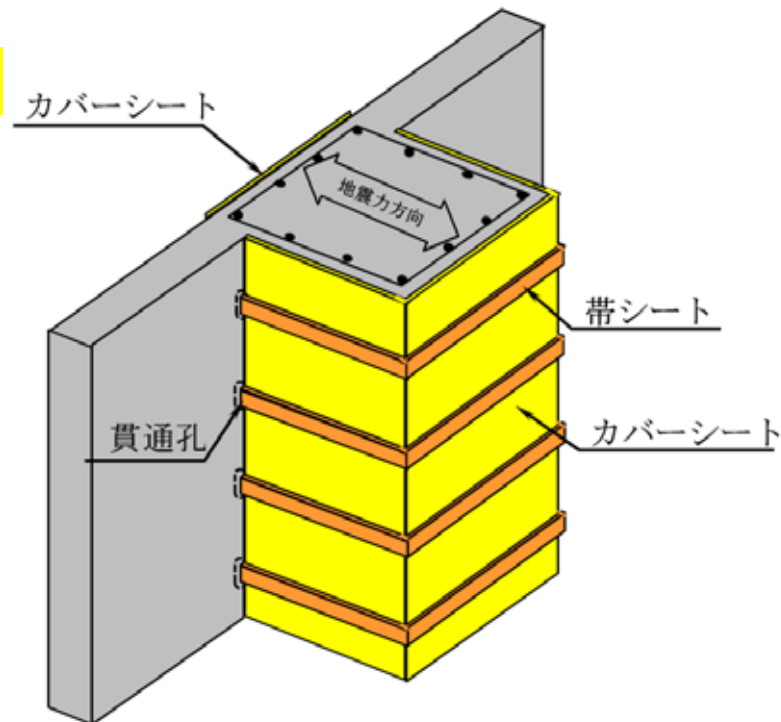
ハイゼラス工法

ファイベックス株式会社

概要

ハイゼラス工法は、カバーシートと帯シート（幅50mm）に**フィブラシート**（アラミド繊維シート）を採用し、カバーシートを柱・梁部材の表面に貼り付けた上に、高目付の帯シートを連続的に重ね一定間隔で巻き付け、それを樹脂にて含浸・硬化させることにより、既存建築物の独立柱・梁のせん断耐力および変形性能の向上を図る耐震補強工法です。

また、柱の面外方向に壁が取り付く場合、あるいは、梁にスラブが取り付く場合は、カバーシートは部材表面のみに貼り付けられるため閉塞型にはならないが、帯シートは壁あるいはスラブに貫通孔を設けることにより閉塞型になり、端部金物を必要とせず柱梁の耐震補強が出来ます。



特徴

＊ 壁の取り付いた柱も端部金物無しで補強出来ます。

帯シートを間隔を開けて使用するが全面巻き付けと同等の耐力が得られます。
 壁の取り付いた柱には壁スリットまたは端部金物が不要です。
 耐力壁もスリットを設けないため有効利用が可能です。
 カバーシートを使用する事で表面ひび割れを制御します。
 補強後構造体や基礎等に影響する荷重増は有りません。
 コンクリート躯体の正確な出来形の測定が不要です。
 重機を必要とせず狭い空間での施工が可能です。
 フィブラシートはしなやかなため簡単な面取りで施工可能です。
 低強度コンクリート既設建物にも対応可能です。
 高軸力を受ける柱にも対応可能です。



(財)日本建築防災協会 技術評価書
建防災発第 2497 号

フィブラシート仕様

◎ 帯シート（カバーシートとの併用）

品番	最大引張荷重 (kN/m)	目付量 (g/m ²)	設計厚 (mm)	シート幅 (mm)	規格引張荷重 (N/mm ²)	規格ヤング係数 (N/mm ²)
AK-40	392	280	0.193	50	2,060	1.18 × 10 ⁵
AK-60	588	415	0.286			
AK-90	882	623	0.430			
AK-120	1176	830	0.572			
AK-180	1764	1,245	0.859			
AK-240	2352	1,660	1.145			

◎ カバーシート（帯シートとの併用）

品番	最大引張荷重 (kN/m)	目付量 (g/m ²)	設計厚 (mm)	シート幅 (mm)	規格引張荷重 (N/mm ²)	規格ヤング係数 (N/mm ²)
AK-40	392	280	0.193	100 300 500	2,060	1.18 × 10 ⁵



フィブラシート

施工写真

